

2024 年度 摂南大学 出題内容と学習のポイント

化 学	公募制推薦入試 前期日程・後期日程
-----	-------------------

●出題内容

問題・解答用紙番号	3・12・15		
試験時間	60 分		
解答形式	マーク		
難易度	いずれの日程においても、教科書の内容に則した基本～標準レベルの問題が出題されている。大問ごとによる難易度の差はないが、基本的な知識を問う問題のほかに、やや煩雑な計算を伴う問題が出題されている。		
問題の内容 (構成)	前期日程 (11/16 実施 3) 〔Ⅰ〕小問集合 〔Ⅱ〕金属結晶 〔Ⅲ〕電池 〔Ⅳ〕芳香族化合物	前期日程 (11/17 実施 12) 〔Ⅰ〕小問集合 〔Ⅱ〕O－H 結合と水の状態 変化 〔Ⅲ〕塩素と塩化物 〔Ⅳ〕芳香族化合物	後期日程 (12/15 実施 15) 〔Ⅰ〕小問集合 〔Ⅱ〕気体の状態方程式 〔Ⅲ〕中和反応と塩 〔Ⅳ〕金属イオンの分離・確認

●学習のポイント

①重要用語を中心として各分野をまんべんなく学習しておこう

どの日程においても教科書の章末レベルの問題が「化学基礎・化学」の全範囲からまんべんなく出題されている。まずは教科書の重要用語を理解するところから始めてみるとよい。1つの単元を学習し終えたら、教科書の章末問題などを活用し、学習して得た知識が定着しているかどうか確認してから次の単元に取り組むようにしよう。

②過去問などを活用して自分の苦手分野を分析し、対策をしておこう

ある程度の学習が進んだ段階で、過去に取り組んだ学校の定期テストや模試などを活用して、自分が苦手とする分野を確認しておこう。苦手分野を確認できたら、その分野を中心として復習を行っておくとよい。

③計算問題を数多くこなして得意分野にしよう

計算問題は、用語の穴埋め問題などと比較すると得点率が低く、苦手とする受験生も多い傾向にある。そのため、試験に合格するには計算問題を速く正確に解くことがポイントである。問題集などを繰り返し解いて十分な対策をしておこう。

2024 年度 摂南大学 出題内容と学習のポイント

化 学	一般選抜 前期日程（3 科目型・2 科目型）
-----	------------------------

●出題内容

問題・解答用紙番号	22・34	
試験時間	70 分	
解答形式	マーク	
難易度	いずれの試験日においても難易度は基本～標準レベルであり、大問によっては教科書の「コラム」や「参考」などに記載されているやや難易度の高い問題も出題されている。	
問題の内容（構成）	1/20 実施 22 〔Ⅰ〕小問集合 〔Ⅱ〕COD の測定 〔Ⅲ〕化学反応の速さ 〔Ⅳ〕シクロアルカン	1/21 実施 34 〔Ⅰ〕小問集合 〔Ⅱ〕電解質水溶液の化学平衡 〔Ⅲ〕2 族元素 〔Ⅳ〕芳香族カルボン酸とその誘導体

●学習のポイント

①各分野をバランスよく学習しておこう

出題の傾向として、どちらの日程においても「化学基礎・化学」のすべての範囲からバランスよく出題されている。教科書の重要用語は必ず確認し、教科書の章末問題などを活用することで学習した知識を定着させておこう。

1/20 実施の「〔Ⅱ〕COD の測定」のように、やや難易度の高い内容の問題が出題されることもある。そのため、余裕があれば、教科書の「参考」に記載されている内容なども十分に読み込んでおこう。

②自分の苦手分野を分析しておこう

過去に取り組んだ模試や学校の定期テストから、苦手分野を分析しておこう。入試本番前までには苦手分野を重点的に学習し、十分な対策をしておくこと。

③計算問題は速く正確に解けるようにしておこう

計算問題は、得点率が比較的低い傾向にあるため、試験の合否を分けるポイントとなる。十分な演習を行っていないと試験時間内にすべての問題を解くことができない可能性もあるため、頻出の单元である「電気・電気分解」、「気体の状態方程式」、「希薄溶液」、「平衡定数」を中心によく学習しておこう。

入試直前には過去問を活用し、時間配分を意識しながら制限時間内に問題をすべて解くことができるか確認しておこう。

2024 年度 摂南大学 出題内容と学習のポイント

化 学	一般選抜 中期日程
-----	-----------

●出題内容

問題・解答用紙番号	48
試験時間	70 分
解答形式	マーク
難易度	全体を通して、難易度は基本～標準レベルであり、教科書の内容を逸脱した問題は出題されていない。特筆すべき事項として、大問 4 の有機分野では、鏡像異性体に関連した難易度の高い問題の出題が見られた。
問題の内容（構成）	〔Ⅰ〕小問集合 〔Ⅱ〕結晶の構造と性質 〔Ⅲ〕アンモニアと硝酸の製法・性質 〔Ⅳ〕炭素の構造・鏡像異性体の性質

●学習のポイント

①重要用語に関する知識を定着させておこう

大問 2～4 では、冒頭のリード文を読み進めながら問題を解いていく形式であり、リード文中の穴埋め問題も出題されている。穴埋め問題の選択肢の大半は教科書の重要用語であるため、試験で安定した得点をとれるよう、まずは基礎学力を身につけておこう。「化学基礎・化学」の全範囲からまんべんなく出題されているため、入試本番前までには必ず教科書に記載されている重要用語はすべて目を通し、理解しておこう。

②苦手分野は重点的に対策をしておこう

前述のとおり、さまざまな単元からまんべんなく出題される傾向にあるため、得意分野に絞った勉強よりも、苦手分野をなくす学習をしたほうが高得点をねらいやすい。過去問などを利用して、自身の苦手分野をチェックし、苦手分野は問題集などを活用して十分な対策をしておくこと。

余力があれば、比較的出題されやすい「COD」、「緩衝液の pH」、「マルコフニコフ則」、「オゾン分解」などを中心に教科書の「参考」や「発展」に関する内容にも目を通しておこう。

③計算問題の演習を十分にしておこう

計算問題はほとんどの大問で出題された。計算問題は苦手とする受験生が多い傾向にあり、試験の可否を分けるポイントとなる。計算問題を速く正確に解くことができれば、ほかの問題を解答する時間が確保できるため、教科書の章末問題や問題集などを活用して、しっかりと対策をしておくこと。

2024 年度 摂南大学 出題内容と学習のポイント

化 学

一般選抜 後期日程

●出題内容

問題・解答用紙番号	58
試験時間	70 分
解答形式	マーク
難易度	教科書の範囲を逸脱するような設問の出題はなく、難易度は基本～標準レベルといえる。なお、計算問題が比較的多く出題されているため、全体を通して、得点を取りづらい傾向にあるといえる。
問題の内容（構成）	〔Ⅰ〕 小問集合 〔Ⅱ〕 酸と塩基 〔Ⅲ〕 銀とその化合物 〔Ⅳ〕 糖類

●学習のポイント

①「理論」「有機」「無機」の3つの分野をまんべんなく学習しよう

大問別にみていくと、大問 1 が小問集合、大問 2 が理論分野（酸と塩基）、大問 3 が無機分野（銀とその化合物）、大問 4 が有機分野（糖類）である。3 つの分野からそれぞれ 1 大問ずつ出題されているため、苦手な分野をつくらないように、まんべんなく学習していくことが重要である。

「理論」では気体の状態方程式や平衡、「無機」では金属イオンの系統分析、「有機」では有機化合物の分離などが各分野における総合的な知識を要する内容であるため、よく確認しておこう。

②計算問題を十分に演習しておこう

前述のとおり、比較的多く計算問題が出題されているため、十分な演習をしていないと試験時間内にすべての問題を解答できなくなってしまう可能性がある。模試などで間違えた計算問題などは、問題集などから類題を探し、よく復習することが重要である。

また、計算問題は煩雑になるほどミスが起こりやすい内容でもあるため、日ごろから計算を再度行うなどの見直しをする習慣を必ずつけておくこと。

③過去問を利用し、入試本番のための準備をしておこう

試験本番までは実際に過去問を解き、試験問題の出題形式に慣れておこう。なお、過去問を解く際には、見直しする時間を十分に確保できるよう、解けなさそうな問題を後回しにするなど、時間配分には気をつけておくこと。